

簿記検定3級を目指してみませんか？



簿記（ぼき）とは？

簿記とは、会社がおこづかい帳をつけるときのルールのことをいいます。会社はおこづかい帳をつけることによって、いくらもうかっているのか、いくらのお金の手元にあるのかを計算します。そして全ての会社は、おこづかい帳をつけることが義務となっています。



簿記を学ぶメリット① 就職に有利

簿記は全ての会社に求められるスキルです。そして特に事務仕事をしたい人には役立つ資格です。そのため、簿記検定を持っていると就職に有利になるといわれています。転職をする場合や、結婚・出産後の再就職でも同様です。

簿記を学ぶメリット② 会計専門家への第一歩

会計のプロフェッショナルとして税理士や公認会計士という資格があります。どちらも社会に無くてはならない職業で、多くの人や会社の役に立っています。そして自由な働き方が可能です。簿記3級はそんな会計専門家への第一歩となるでしょう。



講義スケジュール(例)

1コマ1時間の講義を50コマ程度で完結するボリュームとなっています。そのため、週2回で半年ほどかけてゆっくり学んでいく方法や、夏季休暇などで短期集中1か月ほどで学んでいく方法もあります。ご希望に合わせてスケジュール調整が可能です。そのほか、資格のことなど私でお答えできることであれば何でもご質問OK。お気軽にご相談ください。

講師紹介 井戸川 真也(いどがわ しんや)

北海道中川郡本別町出身、40歳。
税理士になって4年目、1人でのんびり働いています。社会福祉士としては2年目。
そのほか、世田谷区一時保護所の夜間指導員(2022年度)、職業訓練校の簿記講師。
好きなスポーツは「テニス」、好きな動物は「クオッカ」と「ペンギン」。

